



# ICカードによる孤独死対策システム

井町よしたか議員事務所インターン生

河合 優太 上高原 陽 内田 湧大



# 孤独死とは

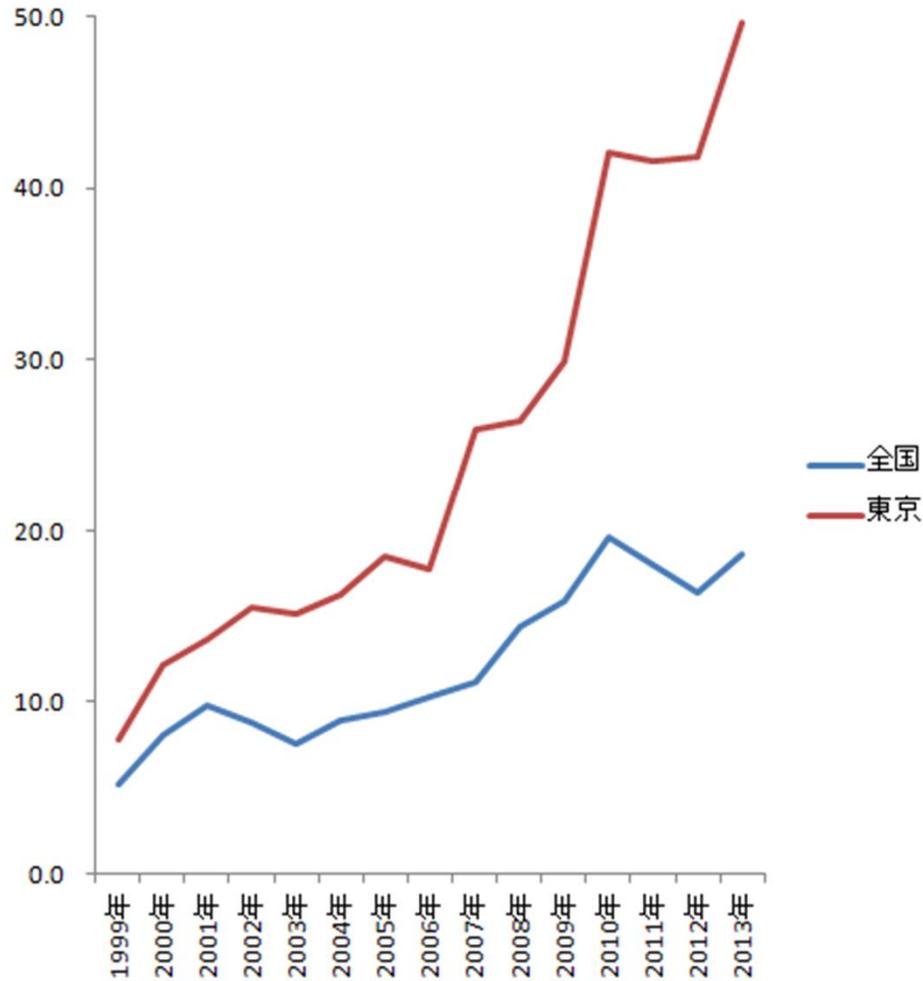
---

一般的に

「一人暮らしをしていて  
誰にも看取られずに亡くなった場合」

をいう

# 孤独死者の100万人あたりの出現率の推移



総務省  
「人口統計年表」

年々増加傾向にある



## 現状の問題点

---

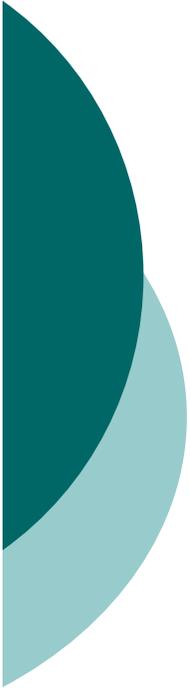
- 高齢者の居場所把握手段が不十分
- 岡崎市の安否確認手段の乏しさ
- 外での安否確認が難しい



## 現在可能な安否確認の例

---

- 訪問サービスによる安否確認
- ホットの使用状況の伝達
- スマートフォンなどGPS機器による確認
- 定期的に自宅を訪問する  
配食サービス



# 政策立案

---

私たちは

ICカードを使った  
位置情報把握システム

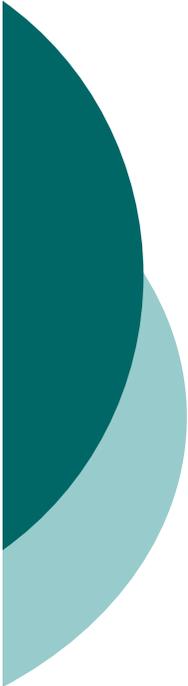
を提案します



## ICカードを提案する理由

---

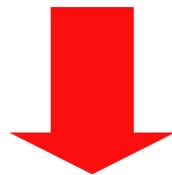
- 財布に入れて持ち歩くことができる
- 外出時に持ち出すもの



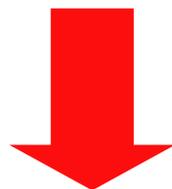
## ICカードの利用履歴の送信・確認

---

予めICカードに番号付けをする

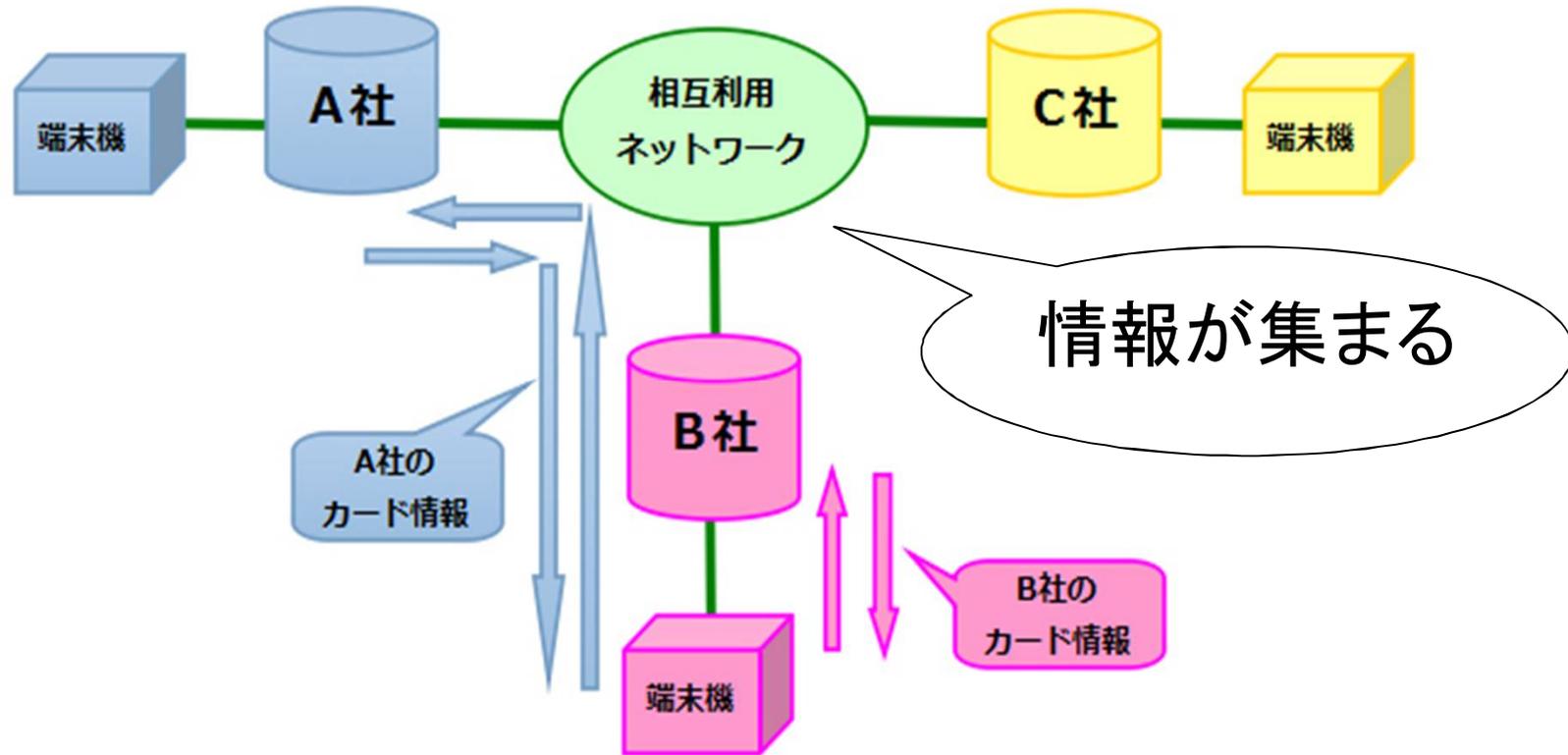


自治体のアプリに家族のICカード番号を登録



乗降車場所を自動で通知

# ICカードの運用システム





# ICカード使用における問題点

---

- プライバシー侵害の危険性  
乗降車場所≒位置情報

➡ 行政、家族に限って確認可能



# システム導入予算

---

## ○ 導入費(1年目)

### ・ICカードの配布

1枚 ¥1,000 × 8,4914人 (H.29 3月現在の65歳以上の人口)

### ・カードリーダーの導入(名鉄東部交通バス)

設備費 ¥493,000 × 未導入バス台数(10台とする)

¥84,914,000 + ¥4,930,000 = ¥89,844,000-

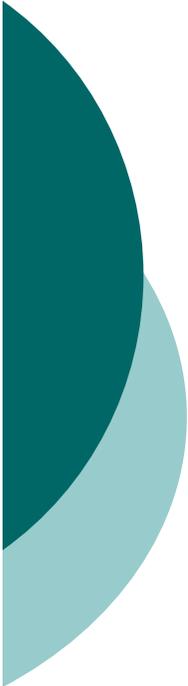


- 継続費(2年目以降)

新たに65歳になる人口

→ 約4,000人

$$¥1,000 \times 4,000 \text{人} = ¥4,000,000$$



## 政策立案のまとめ

---

ICカードを使った行政による  
位置情報確認システム

↳ 家族の安心を提供

# バスの赤字について(バス路線)

バス路線確保対策補助金

H23 164,195,000円



H24 191,928,000円



H25 213,017,000円

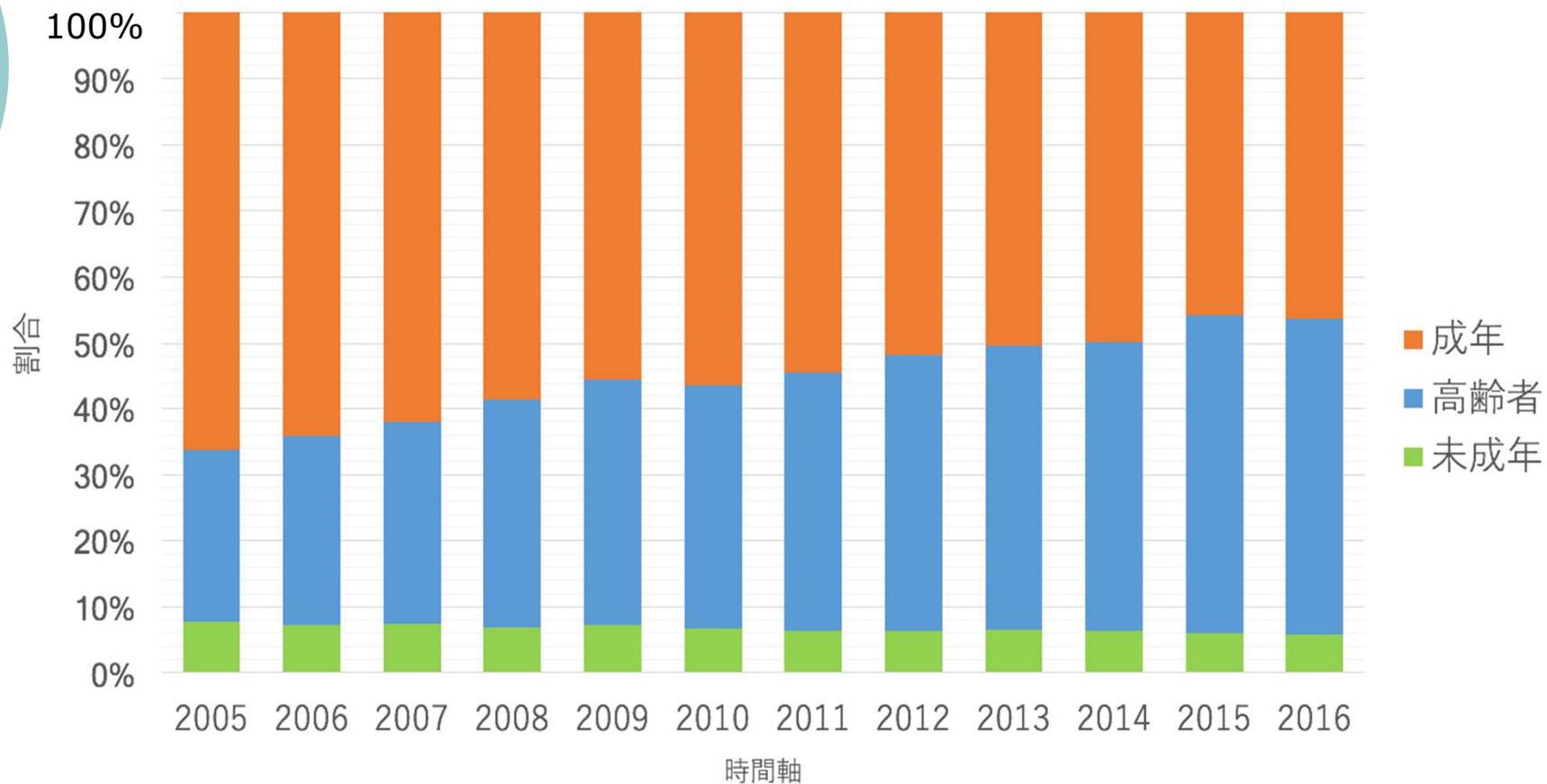
全部赤字です...

恒常的な費用の増加傾向！

岡崎市予算から



# 自動車乗車中の年齢階層別 交通事故死者数推移





## 副次効果

---

ICカード利便性を認識してもらい  
バスの利用者の増加を図る

近年上昇している高齢者事故の割合を  
減らすことが出来るかもしれない

ご清聴

ありがとうございました！！！！





## 今後の課題

---

- 交通空白地帯(車以外利用手段がない)への対策

自動車の代替手段の不足

- ICカードの普及の問題(費用面)

- 高齢者のICカード使用

ICカード⇒高齢者になじみがあるのか？